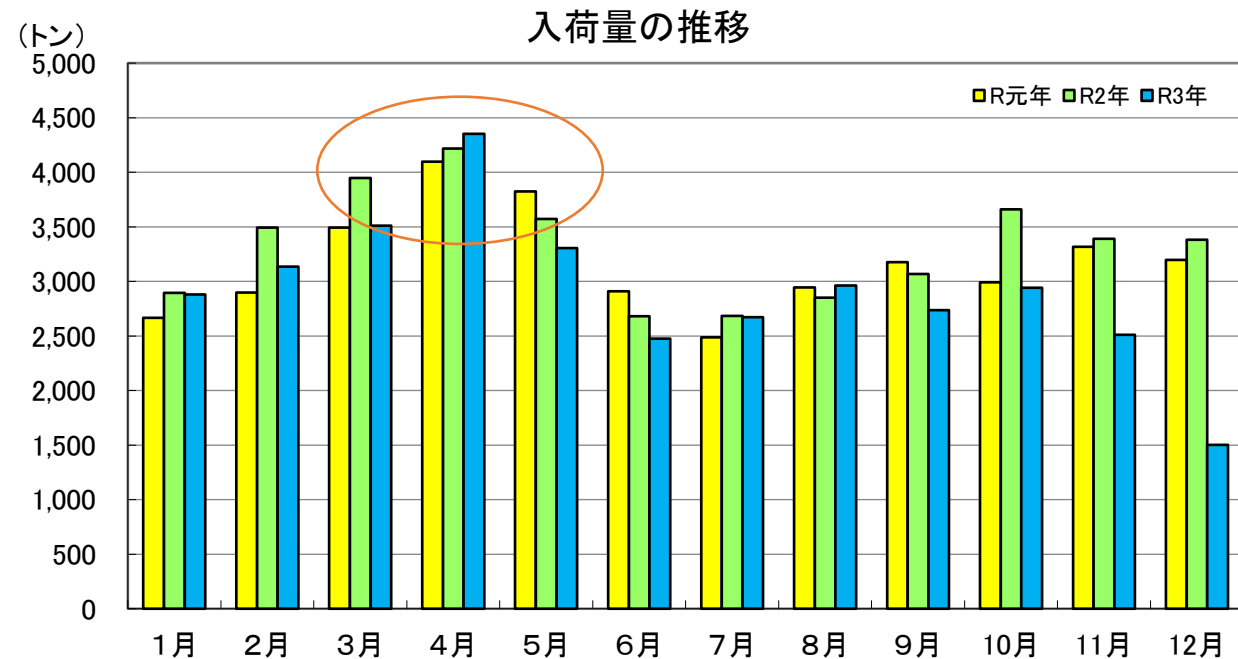


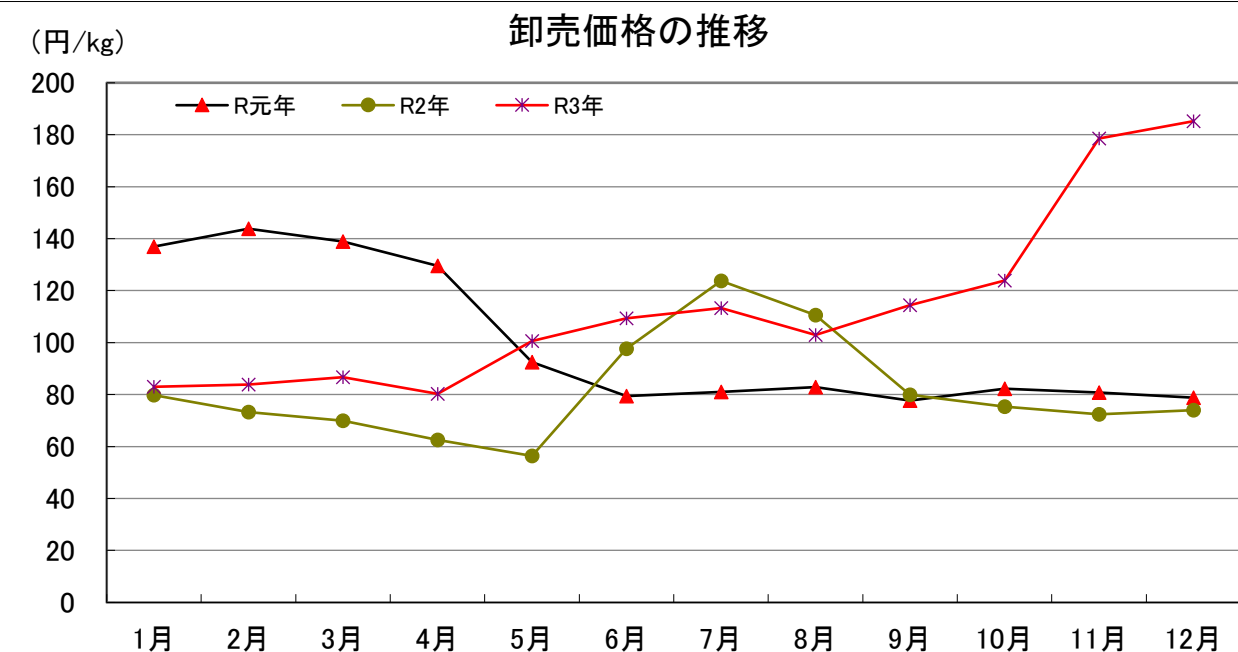
# たまねぎの動向

○年により差があるものの、3月から5月にかけて、入荷量が多くなっている。

○令和3年は、主産地の北海道産が干ばつの影響等により、秋以降の入荷量が減少し、卸売価格が高騰した。



全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
867千トン	20.1千トン	8%	92%



資料: 指定野菜の入荷量と価格(北陸農政局管内17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。)

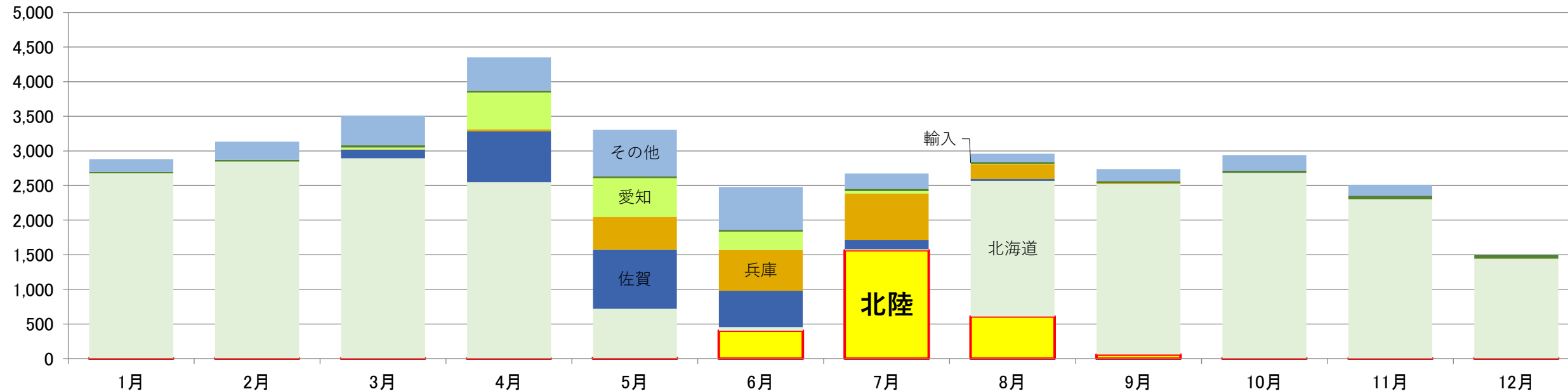
○入荷量は、北海道産が約7割以上を占めている。また、北陸地域からのたまねぎの供給比率は8%となっている。

○富山産は、関東、東海、北陸地域へそれぞれ約3割ずつ出荷され、新潟産は4分の3を北陸地域に出荷している。

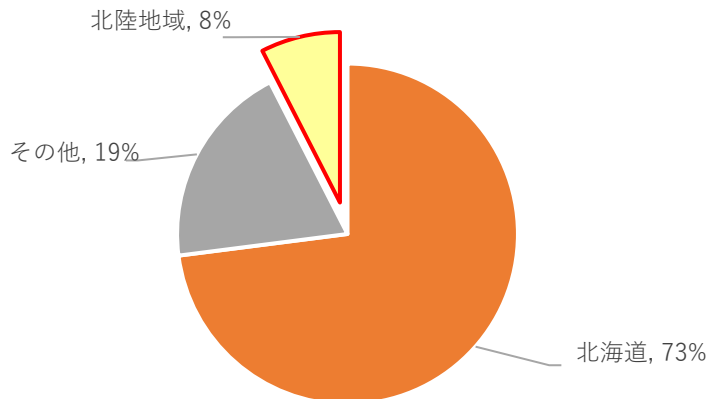
(トン)

### 月別・産地別入荷動向(令和3年)

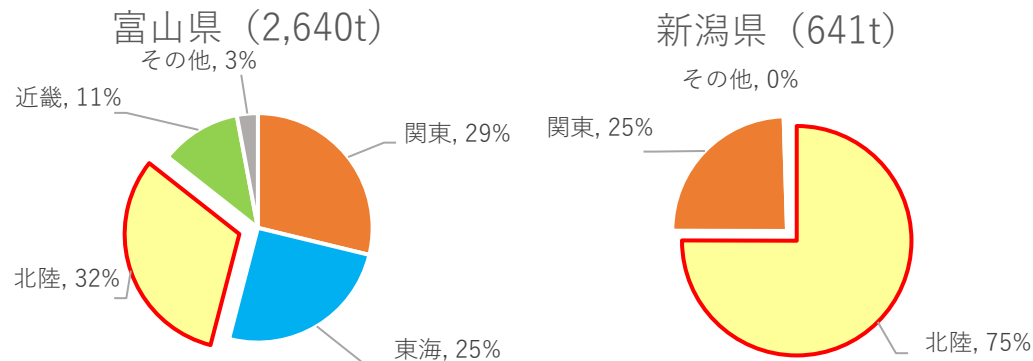
資料: 指定野菜の入荷量と価格



### 産地別取扱割合



### 主要消費地域への出荷量



資料: 令和3年青果物卸売市場調査報告